

決裁	市長	副市長	教育長	部長	課長	主幹	郷土資料館

会議報告書

会議名	令和2年度第1回白井市郷土資料館運営協議会会議						
場所	白井市文化センター2階 中ホール				日時	令和2年7月31日(金) 15:30~16:50	
報告者	郷土・プラネタリウム班		職・氏名		主査補 松丸 葉子		
出席者	(委員) 倉田委員(会長) 古里委員(副会長)・横山委員・小林委員・森山委員・阿部委員・杉原委員(7名) 1名欠席						
	(事務局) 石田館長(センター長)・高花主幹・生涯学習課 戸谷主査 酒井主査補・松丸					傍聴者	1名

1. 開 会

2. あいさつ

○会長あいさつ

コロナウイルス感染拡大のなか参集いただき、ありがとうございます。貴重な会議になると思う。

ニュースでは本日、東京都は460人を超える感染者がいるということで、今しばらく社会生活に様々な制約が出るだろう。郷土資料館も運営にいろいろ影響がでているかと思うが工夫して活動を続けて欲しい。

○教育長あいさつ

・委員の皆様には日頃より郷土資料館の運営に関しましてご指導ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。2月から新型コロナウイルス対策ということで、文化センターはもとより市役所、学校様々なところで感染防止に尽力し、支障があるとは思いますが郷土資料館は白井市の歴史の伝承をしていかなければならないので制約される中でも運営を続けてきたい。

・本日の第1回目の会議は3つ、1つ目は平成31年度の事業報告、2つ目は令和2年度の事業実施状況報告、3つ目が今年度中に作るということで白井市の教育振興基本計画、この中にも文化芸術等の分野がありそれについても議論していただき、皆様には十分にご審議を賜り、実りある会議にしていただきたい。

○委員の過半数の出席により「本会議が成立」及び審議会等会議公開の指針に基づき「公開会議」であることを報告。

3. 議題 (議長：倉田会長)

白井市郷土資料館設置管理条例施行規則第10条により、会長が会議の議長となる。
平成31年度事業報告について・・・資料に基づき事務局(郷土資料館)より説明。
審議結果・・・大きな指摘事項等はなかった。

(1) 平成31年度事業報告について

[質疑応答]

委員：1年間事業を実施して郷土資料館はどういう成果を得たのか、実施してどういう課題が見つかったのか伺いたい。

事務局：2月末までは予定通りできていた。体験教室と初めて行った体験フェスタも盛況に行うこと

が出来たので普及に関してはできていたと思う。

全体的には講座等の後半事業が実施できなかったため昨年度より来館人数が下がってしまったのが残念である。郷土資料館としては、体験フェスタを今年度も実施しようとしたが、コロナウイルス感染拡大の状況で、体験するものは密になるためできなくなり残念である。状況が落ち着いたら、体験教室や体験フェスタを考慮して色々工夫したい。

会 長：コロナウイルス感染拡大防止のために、公共施設を閉めなければならないという状況が生じた場合、実際、利用者は来館できない。なんらかの手段で資料館から情報発信をするという事を考えているか。今後、新たな発信方法についての実施計画はあるか、再度、閉鎖、閉館という事もありうるかと思う。人が集る活動はしづらい、そうした場合どういう活動をしていくかということも重要になってくる。休館中（令和2年3月3日から5月31日の期間）はそうしたことを少しは考えていたか。

事務局：休館中に関しては今まで手が回っていなかった収蔵庫の整理や展示室内の展示替え等を行っていた。今後も収蔵庫・展示室の整理や収蔵品の整理等を進めて行きたい。発信して何か新しい事業を行うことは考えていない。

会 長：どこの資料館も資料整理が滞っているので、資料整理に手を付けているところが多かったと聞いている。色々な博物館のホームページを見るとインターネットを通じた様々な催しを行っているところもある、長期的にこのような状況が続くとすると多少はそういうことも視野に入れるべきと思い尋ねた。

委 員：資料4について、新規寄贈3件のうちの、私立印西学校学籍簿・卒業資料22点とあるが概要・内容を教えていただきたい。

事務局：白井市にあった印西学校という私立の学校の学籍簿と卒業名簿を、所有していた方から寄贈された。印西学校について、把握していたこともあるが、今回寄贈の資料から分かることが沢山あり、貴重な資料になるので次の企画展で紹介していきたい。

委 員：わかりました。続いて借用資料で筵編み機は市内にはないのか、所持している方はいないのか。

事務局：市内で、一部所持していたものを寄贈していただいたものはあるが、一部分だと何であるかわからないため、印西市に展示してあった筵編み機を借用した。

委 員：わかりました。その下の学校給食食缶他というのは展示に使われたのか。

事務局：体験フェスタ（秋）で展示した。

委 員：最後に貸出資料の3点に関して、実測図作成のためとあるが、この実測図はどのように利用されるのか。

生涯学習課：民俗調査で衣食生業、昔の農作業の仕方等の調査の聞き取りを行っているところだが、その中で実際の道具、特に今後の活用を考え、郷土資料館にある道具を中心に実測図、考古学の発掘調査で出てきた資料と同じように図を作成し、それを報告書に載せることを計画して、順次実測を行っている。

委 員：会長がホームページについて話されていたがホームページは31年度事業という事でよろしいか。

事務局：ホームページの改修は今年度に入ってからである。

委 員：年報はまだ頂いていないと思うが16号平成30年度はどうなっているか。

事務局：16号は配布している、17号は作成中である。

会 長：31年度事業実績報告について質問がなければ次の令和2年度事業実施状況報告について。

～ 以上で事業報告についての質疑終了、了承。～

令和2年度事業実施事業報告について・・・資料に基づき事務局（郷土資料館）より説明
審議結果・・・大きな指摘事項等はなかった。

(2) 令和2年度事業実施状況報告について

[質疑応答]

会 長：郷土資料館では今回の新型コロナウイルス感染症拡大に伴って緊急事態宣言が発令され、行事等開催できなかつたわけだが、緊急事態宣言中の町の様子を記録することやコロナウイルス関連の資料など収集は行ったのか。

事務局：白井市の対策として窓口にビニールを貼った庁舎内の変化の写真は撮ってある。

会 長：そうではなく、現状を資料として撮ったのか。

事務局：市内の様子は撮っていない。

会 長：現在の状況を歴史的な状況として捉えて将来に向けて現状写真を撮っている博物館もあるという紹介記事を新聞で読んだので伺ってみた。

事務局：アベノマスクなど身近なところで気づいたところは収集している。

委 員：先ほどホームページを拝見したが2つ聞きたい、資料というところがあり発行図書の販売情報のみだったが、収蔵資料についての情報をホームページに出すという事は考えていないのか。もう一つは古文書修補の項目が無いのはなぜか、教育振興基本計画には5か年計画で古文書修補があるが、活動の日程は確認できたが古文書修補がどういう活動をしていて、どれだけ修補してきたのか、今後新規の人を受け入れるのか、プログラムはどうなっているのか、そういう情報がないのはいかがなものか。

事務局：収蔵関係については資料の整理が出来ていないので、紹介するのはできる状況になったら考えたいと思う。古文書修補活動については、本来なら今年度新規募集する予定だったがコロナ禍の状況で修補作業も時間を短縮して活動を行っている、作業上人が接して教えることになるのでこの状況で新規の新しい人を募集するのは厳しい。予定していた新規募集の人を入れるというのは当面控えることとなる。

また、修補速報展では展示したという報告にとどまっているが横山委員が言うようにもう少し古文書修補作業の情報の掲載方法について今後の検討としたいと思う。

委 員：郷土資料館の目玉としては古文書修補だと思うが、今までどういう活動をしてきたのか、速報展は速報展として、古文書修補作業についてどのような活動で、どういったボランティアを育成しているのか、なるべく早く紹介した方がいいと思う。

収蔵資料を整理してからと言われていたが、随時どういう形で整理しているのか写真は撮っているのか。

事務局：簡単なスナップ写真程度は撮っている。

委 員：随時こういった資料が、常設展に出ているのもいいと思う。少しずつでも毎月1点でも出して行く方が資料館の広報活動としてもいい機会かという提案になる。ちなみに収蔵資料の整理はどの程度残っているのか。

事務局：即答できない。

会 長：短くてもいいので古文書の修補活動の動画があればわかりやすいのではないか。その動画を見れば写真を何枚も出すよりは効果的だと思う。

委 員：5月31日まで臨時休館で、6月2日以降開館して入館者数はどうか。

事務局：少なかつたが、少しずつ戻ってきていると思う。来館にあたり今までは自由に入館できたが、来館者票の記入など制限を設けているので、人によっては「書くなら入らない」と帰る人もいるので若干減っているかと思われる。

会 長：今、公開しているのは常設展示室だけか、常設展示以外、何か行っているのか。

事務局：今は巡回展のパネル展示行っている。

会 長：令和2年度実施状況報告を見ると、団体見学の受け入れははまずないということか。

事務局：今のところ1回も受けていない。

会 長：団体見学は主に学校関係になるか。

事務局：学校も厳しい状況で、昨今はプラネタリウムの来館に合わせて郷土資料館にも入館することがあつたが、学校も時間に制約されるので以前よりも郷土資料館に入る機会が減っていると思われる。

委 員：千葉県博図公連携事業で巡回展が来ているとあるが、以前もあつた県の博物館の巡回展に替わるものか、それとも別のものか。

事務局：同じものである。

委員：いわゆる図書館・公民館ということか。

事務局：今は郷土資料館に来ているが、他に図書館、公民館も巡回している。

委員：資料的には博物館・資料館で集めた県の資料であるか。

事務局：今回は資料ではなくパネルだけの展示になる。

委員：かつては博物館の県内の資料を巡回していたが、今回だけこの3つの組織が一緒になっているのか、それとも今後も巡回展というのは博物館・公民館・図書館が連携してやっていくということになるか。

事務局：県の事業なのでわかりかねるが、ここ2~3年は連携事業として巡回している。実物展示も一緒に巡回しているものもあるが、白井はパネルだけの展示を希望した。

委員：テーマは同じオリンピックか。それに関する実物ということか。

事務局：テーマは同じである。

委員：わかりました。

会長：学校教育の関係だが、白井の小、中学校も休校していたと思うが、白井の場合、休校中オンライン授業などを行ったか、市町村によって差があるようだがどうか。

センター長：オンライン授業をやったかという情報は持っていないが、白井市の全小学校・中学校でタブレット化については、今後設置していくスケジュールになっている。家庭の方では、パソコンがないなどの情報は申し訳ないが把握していない。

会長：もし学校がオンライン授業を行っていれば、郷土資料館の資料の提供を要望する学校もあるのではないかと思ったが、そこまでの整備は行っていないということか。

センター長：コロナ禍の中で学校が休校となりプリントを配るなどの対策をしてきたと思うが、オンライン授業を全ての学校で行うのは難しい。現状ではプリント等での対応が多かったと思われる。

会長：郷土資料館の利用者は実際に来る人だけではなく、資料館のホームページにアクセスする人も利用者である。小学校でもタブレットを使うことを進めているならば、それと同時に資料館のホームページの充実をはかることも重要ではないかと思う。

質問がなければ次の議題に移るがよろしいか。
教育振興基本計画（案）について

～ 以上で事業報告についての質疑終了、了承。～

教育振興基本計画（案）について・・・資料に基づき事務局（郷土資料館）より説明
審議結果・・・大きな指摘事項等はなかった。

（3）教育振興基本計画（案）について

[質疑応答]

会長：施策に郷土史の継承と発信とあるが。

事務局：今後、紙媒体か、ホームページ媒体になるかわかわからないが少しずつ皆様に興味をもてるような内容のものを発信していきたいと思う。

会長：まだ案となっているから多少の変更は可能か。

事務局：はい。

委員：書きにくい点もあるかと思うが、実施するにあたり客観的にみて一番弱いのは収集と保管であると思うが、予算が伴うのでこれを前面に出して実施するとなると問題が出てくるので難しいと思うが、課題としては収集と保管がウイークポイントだということを心に留めて今後実施していく課題として意識して欲しい。

会長：以前から収蔵スペースが足りないという話を聞いているが、収集資料の保管場所の確保はできそうか。

事務局：文化センター全体のあり方検討委員会が発足されるので、その中で場所について要望があることは伝えていきたいと思う。

会 長：資料は待ったなしで来る。現状は狭い収蔵庫しかないということか。

事務局：はい、今はない。

会 長：収集資料の保管という意味では、博物館、文化財保護も同じと思うが、その辺教育委員会として何か施設を確保するという事はないのか。

センター長：今の白井市の現状では確保という検討ないが、先ほど事務局からあったが文化センターのあり方について後ほど報告するが、文化センターは開館以来 26 年経過していて、施設の老朽化と文化会館の天井が新しい法律によって改修が必要となり、この天井をどうするかを検討があった。天井の改修を含め文化センターのあり方の検討が議会で決議され、今後文化センターのあり方を検討する組織を作っておおむね 3 年程度かけて検討していきたい。個々の運営協議会での意見も内容をフィードバックしていくというような計画をしている。ゼロベースからあり方を検討することなので、無くすという事も視野に入れ縮小拡大、様々な意見が出てくると思うが、郷土資料館についても先ほど収蔵する場所が足りないなどの意見を取り入れていきたいと思う。

会 長：教育振興基本計画（案）についてはよろしいか。4 番目のその他になるので事務局に議事進行をお返すする。

～ 以上で事業報告についての質疑終了、了承。～

4. その他

事務局：その他として、文化センターのあり方についての説明をさせていただく。

センター長：令和 2 年 3 月議会で白井市の文化センターのあり方について速やかに検討を開始して文化会館大ホールの天井を含めた大規模改修工事計画の作成を図る事と、令和 2 年度の予算の附帯決議として市議会から提出されている。附帯決議を踏まえ市では文化会館大ホールの天井を含めて文化センターのあり方について検討を開始すると今着手したところである。現在検討の進め方について準備をしており、詳細について検討方法が固まり次第協議会で報告する。また検討にあたり協議会の皆様にもご意見を頂きたいと考えている。

会 長：文化センターのあり方の協議次第で場合によっては、多少収蔵施設が確保できる可能性が少しはあるということか。

センター長：可能性を求めて努力したいと思う。収蔵施設が足りないのは以前から課題にもなっている。改修の中で必要だと提案していきたいと思う。

市の実施計画の関係で後期の基本計画の最終年度が令和 7 年度で、改修を行いたいと思っている。その間にあり方を決め、令和 3 年度 4 年度で文化センターの方向性を決めて行き、その時には意見をいただくことになるのでよろしくお願いしたい。

会 長：その間の資料の収蔵、保管場所はどうなるのか。

センター長：収蔵庫が一杯でどうにもならない現状であれば、教育委員会と協議していきたいと思う。

会 長：わかりました。

事務局：その他、何かあるか。

委 員：市制 20 年記念企画展で、私立印西学校について寄贈の話があったが、富塚学校という小学校に 30 年校長として勤務していた先生が、相当な資料を持っているようだが資料について収集しなければ散逸してしまう恐れがあるが、市としてどう考えているのか。

事務局：後ほど検討させていただきと思う。

事務局：本日の会議を終了させていただきたい。